

巻 頭 言

九州地区大学体育連合会長 杉 山 佳 生

本誌の発刊後、しばらくすると、私の会長としての2年間の任期は終わりますが、この間、新型コロナウイルスの影響により、例年とは大きく異なる対応を迫られることになりました。1年目の春期研修会は中止、2年目の夏期研修会も中止、2年目の春期研修会はオンライン開催（予定）となり、また、関連会議も、1年目の冬以降は、ほとんどがメール回議となりました。移動や集会が制限される中で、会員の皆様には、連合として十分なサービスができず、大変恐縮しているところです。この場を借りて、お詫び申し上げます。

その一方で、色々なことを考えさせられた2年間でもありました。ここでは、二つの点に、触れておきたいと思います。

一つ目は、教育における創意工夫と、臨機応変に対応することの重要性を再認識させられた、ということです。コロナ禍において、学校教員は、遠隔授業の実施や、感染対策を（十分過ぎるほどに）施した授業実践を求められ、体育も、例外ではありませんでした。「自宅の部屋でできる体力トレーニング」、「ソーシャル・ディスタンスを保って行うスポーツ」、「オンラインでの運動スキル評価」など、これまでほとんど考えることのなかったことを考えなければならず、大学においても、多くの先生方が、短い時間の中で、様々な可能性を視野に入れながら、新しい形態の授業の構築を試みてきたのではないかと思います。「とりあえず、やってみる」ということも、多かったのではないのでしょうか。個人的には、このような「想定外」の状況への大学体育関係者の対応力は、非常に優れている（少なくとも、多くの経験知を有している）と思っていますので、苦労はしながらも、一定の評価が得られるような対応ができているのではないかと考えています。具体的な実践内容については、研修会等でご紹介いただくことを検討していますが、そのような場で、様々な知恵やアイデアが共有されることを期待しています。

もう一つは、一つ目の内容とも関連しますが、「エビデンス」にかかる問題です。現代科学においては（実際は、「現代にかかわらず、いつの時代でも」なのですが）、エビデンスの重要性が強調されており、健康運動においても、体育教育においても、エビデンスに基づく実践や行動が求められています。ところが、今回のコロナ渦においては、私たちは、エビデンスがほとんどない（あっても、一般的な疫病についてのエビデンスしかない）中で、様々な現実的、実践的対応を迫られるという状況に置かれ、とにかく、「少しでもよい」と思われる方策を選択するという「判断」が求められることになりました。このような状況下では、「エビデンスがないから何もしない・できない」ではなく、「まずは試行してみる、そして、少しずつエビデンスを集める」という姿勢が必要になります。このように、コロナ問題は、私たちに、「不確実性が高い状況においては、エビデンスのみに頼るのではなく、自らの経験知と勇気ある判断で、対処することが重要である」ことを教えてくれたと思っています。

今回の出来事は、4～5年も経つと、「あんな大変なことがあったなあ」という思い出に変わるかもしれませんが、私たちに、多くの気づきと教訓を与えるだろうことは、間違いのないと思います。未だ渦中ではありますが、このような前向きの未来像を頭に描きながら、乗り越えていけたらと願っているところです。

目 次

巻 頭 言	杉山 佳生 (九州地区大学体育連合会長)	1
I. 教育研究論文		
— 原著論文 —		
1. 大学生における運動部活動と生きる力との関係	東恩納玲代 (名 桜 大 学) 遠矢 英憲 (名 桜 大 学) 小賦 肇 (名 桜 大 学) 田原 亮二 (西南学院大学) 奥本 正 (名 桜 大 学)	3
II. 大学体育連合関連情報		
第8回大学体育スポーツ研究フォーラム報告 第8回大学体育スポーツ研究フォーラムに参加して.....	木戸 貴弘 (別府大学短期大学部)	13
III. 2020 (令和元) 年度体育・スポーツ・健康に関する教育研究会議		
「一般体育担当教員に求められるもの」を整理する 趣旨説明	杉山 佳生 (九州大学)	15
大学体育実技授業の改善と改革	藤本 敏彦 (東北大学高度教養教育・学生支援機構)	16
アクティブ・ラーナーを育成するための「自己調整学習」の活用	須崎 康臣 (島根大学)	20
IV. 誌上発表		
教育職員免許法施行規則第66条の6に定められる「体育」 の開講コマ数と免許取得者数・体育教員数の関連 首都圏の美術系大学における一考察.....	北 徹朗 (武蔵野美術大学) 森 正明 (中央大学)	25
大学体育講義の受講者が考える「今後の自身の運動・スポーツを充実するための諸方策」 ～運動・スポーツに対する「苦手意識」の記述があったレポートの分析～	道向 良 (鹿児島大学非常勤講師)	27
V. 体育・スポーツ関連情報		
大学めぐり	音成 陽子 (中村学園大学)	37
VI. 事務局報告		
2019 (令和元) 年度 事業報告		39
令和元年度 九州地区大学体育連合 決算報告		45
令和2年度 九州地区大学体育連合 補正予算		46
「体育・スポーツ教育研究」論文投稿のご案内		47
令和3年度 (2021年度) 九州地区大学体育連合事業計画		48
九州地区大学体育連合規約		49
2019 (令和元) 年度 九州地区大学体育連合 役員名簿		50
2020 (令和2) 年度 九州地区大学体育連合 役員名簿		51
2019 (令和元) 年度 九州地区大学体育連合 加盟大学および個人		52
2020 (令和2) 年度 九州地区大学体育連合 加盟大学および個人		53